

# 1月21日（火）白い息

きのう だいかん きせつ うえ  
昨日が「大寒」でした。季節の上では、寒さがきびしくなります。でも、  
ことし  
今年はそうでもなさそうですね。

さむ ひ  
寒い日はこれからもあるでしょう。  
う。そんな寒い日、けむりのような、

しろ いき で  
白い息が出ることがあります。どうして家の中では透明だった息が、  
いき さむ ひ そと しろ  
寒い日、外では白くなるのでしょうか。

わたし くち はな いき ひと たいおん おな  
私たちが口や鼻からはく息は、人の体温と同じくらい  
あたた  
暖かく、しめっています。はく いき  
はく息にふくまれる水蒸気が真冬の  
つめ くうき きゅう ひ  
の冷たい空気にふれると、急に冷やされて、とても小さな  
すいてき すいじょうき とうめい め み すいてき  
水滴になります。水蒸気は透明で目に見えないのですが、水滴  
か しろ み  
に変わること、白く見えるようになるのです。これは、お  
ゆ げ しろ おな  
ふろの湯気が白いのと同じことです。

でも、なんきよく いき しろ  
でも、南極では息が白くならないそうです。理由は、空気  
すいじょうき すいてき か ひつよう  
がきれいだから。水蒸気が水滴に変わるために必要な、ちり  
さむ ばしょ  
やほこりがないからだそうです。とっても寒い場所なのに、  
ふ し ぎ  
不思議ですね。

しろ いき たし  
白い息、確かめてみましょう。

村越 新



イラスト・フジタヒロミ